

提案

日付：2022/11/1

件名：学校給食センター整備進捗について

1.問題、課題：

学校給食提供の基本方針のひとつに「地産地消の推進」を掲げ、寒川産の食材活用を推進中と9月議会で回答されました。町は給食コーディネーター（国の補助金を活用）を置いて農家とJA、町とのマッチングをすすめているとのことでした。食の安全や地産地消は保護者や町民にとっても関心が高く、保護者の要望で給食コーディネーターとの話し合いを申し入れました。しかしコーディネーターは保護者や町民と話しあう役割はないと断れた状況です。

また、町の給食課も話し合いには応じられないとの態度です。

9カ月後に開始される給食センターの準備について保護者や町民は知ることができません。

2.改善案：

- 1) 「給食コーディネーター」の役割と権限を明確にした文書の開示
- 2) 現在の地産地消の取り組み状況の開示
- 3) 開かれた町政にし、協働の推進のために保護者や町民との懇談には可能な限り対応すること。

3.改善後の効果：

保護者、町民、教職員と行政との距離が縮まり、町民との協働推進になる。

令和5年9月にスタートする給食センターの運営の中身に町民や保護者の声が反映される。

町が提唱する、自校方式の良さを取り入れたセンター方式に近づける可能性がある。

回答

<学校給食センター整備進捗について>

【教育施設給食課】

日頃より町学校給食事業にご理解、ご協力をいただき、また、当町が現在進めている給食センター整備事業にご意見をいただき誠にありがとうございます。

さて、まず給食コーディネーターについてお答えしますと、要綱の抜粋となりますが、目的は第1条1項より「学校給食における食育等を一層推進するため」と

し、業務としては第2条より「献立立案、アレルギー対応、食育推進、地産地消推進、給食を活用した健康増進、調査等の回答作成」としております。

つぎに、現在の地産地消の取り組み状況についてですが、町と生産者をつなぐため、学校・生産者・さがみ農業協同組合でマッチングを行っているところであります。また、補足となりますが、現在、関係者間で実現に向けた細かな調整をしているところであります。

最後に、開かれた町政、及び、協働の推進についてですが、当課としましてもご指摘いただいた内容は常々、念頭に置き業務にあたっているところであります。段階ごとにしかるべき順序にて対応していきたいと思っております。

ご提案者様より賜った貴重なご意見につきましては、今後の検討等に有効に活用させていただきます。ご教示いただきまして誠にありがとうございました。